



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年11月9日

上場会社名 株式会社マツオカコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 3611 URL <https://www.matuoka.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長CEO兼COO (氏名) 松岡典之
問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO(グループ管理本部管掌) (氏名) 金子浩幸 (TEL) 084-973-5188
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	29,393	1.4	877	—	2,542	149.5	1,284	720.0
2023年3月期第2四半期	28,999	26.9	△731	—	1,019	323.6	156	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,090百万円(△10.6%) 2023年3月期第2四半期 4,574百万円(254.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	128.62	110.54
2023年3月期第2四半期	15.98	15.93

(注) 第1回無担保転換社債型新株予約権付社債(発行残高15億円)には希薄化を可能な限り抑制することを目的として取得条項(現金決済条項)が設定されているものの、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は株式に転換される可能性がある最大の株式数で計算しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	63,100	35,993	52.0
2023年3月期	59,295	32,305	49.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 32,809百万円 2023年3月期 29,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	△7.6	1,100	—	3,300	3.0	2,000	19.3	200.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

除外 2社 (社名) 嘉興茉織華華遠服飾有限公司、上海茉織華漂洗有限公司

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	10,081,900株	2023年3月期	10,081,900株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	94,916株	2023年3月期	94,837株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	9,987,027株	2023年3月期2Q	9,802,063株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、長期化するウクライナ情勢を背景とした資源・エネルギー価格の高騰や世界的な金融引き締め等から、景気が減速傾向にあることに加え、中国における景気回復ペースの鈍化が懸念されるなど、引き続き先行き不透明な状況で推移しました。

わが国経済においては、コロナ禍が明け、企業業績が回復基調にありながらも、資源・エネルギー価格の高騰や物価上昇の影響から消費動向は力強さを欠くなど、依然として景気回復には不確実性が伴い、予断を許さない状況が続いております。

このような経済環境の下、当第2四半期連結累計期間の受注の状況につきましては、引き続きアパレル製品の需要が回復傾向にあることに加え、生産拠点の生産性と品質のさらなる向上に取り組み、生産ロットや納期、コストといった顧客ニーズに柔軟に対応できる生産体制の整備を進めた結果、堅調な受注につなげることができました。

生産の状況においては、中期経営計画第1期で新設した工場を中心に生産能力の拡大を進め、引き続き、中国からASEAN諸国等への生産地シフトを推進しました。また、自社工場ならではの強みを活かし、生産ロスの削減やオーダー量に合わせた適正な生産ラインおよび人員配置等の実施によって生産効率を高め、利益率アップに貢献しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は293億93百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は8億77百万円（前年同期は営業損失7億31百万円）、経常利益は25億42百万円（同149.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億84百万円（同720.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて38億4百万円増加し、631億円となりました。主な要因としては、有形固定資産の増加17億77百万円、現金及び預金等の増加10億96百万円、受取手形及び売掛金の増加9億96百万円等があったことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて1億16百万円増加し、271億7百万円となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金の減少6億13百万円等があったものの、短期借入金の増加3億42百万円、未払法人税等の増加2億85百万円等があったことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて36億88百万円増加し、359億93百万円となりました。主な要因としては、配当金の支払3億99百万円等があったものの、為替換算調整勘定の増加24億46百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上12億84百万円等があったことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フロー19億7百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フロー18億96百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フロー1億43百万円の減少、現金及び現金同等物に係る換算差額6億60百万円の増加となった結果、前連結会計年度末に比べて5億28百万円増加し、150億9百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは19億7百万円の増加(前年同期は21億77百万円の減少)となりました。主な要因としては、売上債権の増加9億44百万円、法人税等の支払額9億32百万円等があったものの、税金等調整前四半期純利益26億67百万円、棚卸資産の減少10億42百万円、減価償却費9億58百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは18億96百万円の減少(前年同期は23億25百万円の減少)となりました。主な要因としては、有形固定資産の取得による支出12億36百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1億43百万円の減少(前年同期は56億55百万円の増加)となりました。主な要因としては、短期借入金の純増額3億53百万円、長期借入による収入2億74百万円等があったものの、配当金の支払額(非支配株主への配当金の支払額を含む)4億4百万円、長期借入金の返済による支出3億23百万円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、本日(2023年11月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,064	16,160
受取手形及び売掛金	8,059	9,055
電子記録債権	1,265	1,396
商品及び製品	2,650	3,108
仕掛品	5,346	4,763
原材料及び貯蔵品	3,592	3,189
その他	1,603	1,660
貸倒引当金	△25	△26
流動資産合計	37,556	39,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,896	11,859
その他（純額）	9,597	8,412
有形固定資産合計	18,494	20,271
無形固定資産		
その他	2,146	2,321
無形固定資産合計	2,146	2,321
投資その他の資産		
その他	2,974	3,139
貸倒引当金	△1,875	△1,941
投資その他の資産合計	1,099	1,198
固定資産合計	21,739	23,792
資産合計	59,295	63,100

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,141	6,527
電子記録債務	575	643
短期借入金	6,452	6,795
1年内返済予定の長期借入金	401	663
未払法人税等	745	1,031
賞与引当金	513	423
その他	1,692	1,747
流動負債合計	17,522	17,832
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,500	1,500
長期借入金	6,164	5,851
退職給付に係る負債	438	426
資産除去債務	667	751
その他	698	744
固定負債合計	9,468	9,274
負債合計	26,990	27,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	584	584
資本剰余金	2,258	2,258
利益剰余金	22,456	23,341
自己株式	△246	△246
株主資本合計	25,052	25,937
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	48
繰延ヘッジ損益	△8	△2
為替換算調整勘定	4,474	6,920
退職給付に係る調整累計額	△84	△95
その他の包括利益累計額合計	4,417	6,871
非支配株主持分	2,834	3,184
純資産合計	32,305	35,993
負債純資産合計	59,295	63,100

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	28,999	29,393
売上原価	27,083	25,723
売上総利益	1,915	3,670
販売費及び一般管理費	2,647	2,792
営業利益又は営業損失(△)	△731	877
営業外収益		
受取利息及び配当金	39	87
為替差益	1,674	1,458
補助金収入	66	55
その他	67	208
営業外収益合計	1,847	1,809
営業外費用		
支払利息	52	89
債権売却損	11	38
社債発行費	24	—
その他	7	16
営業外費用合計	96	144
経常利益	1,019	2,542
特別利益		
関係会社清算益	11	124
特別利益合計	11	124
特別損失		
固定資産売却損	10	—
特別退職金	294	—
特別損失合計	304	—
税金等調整前四半期純利益	726	2,667
法人税等	652	1,302
四半期純利益	74	1,364
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△82	79
親会社株主に帰属する四半期純利益	156	1,284

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	74	1,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	11
繰延ヘッジ損益	98	6
為替換算調整勘定	4,456	2,736
退職給付に係る調整額	△29	△16
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	△11
その他の包括利益合計	4,500	2,726
四半期包括利益	4,574	4,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,206	3,737
非支配株主に係る四半期包括利益	367	352

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	726	2,667
減価償却費	840	958
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△150	△115
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△65	△23
受取利息及び受取配当金	△39	△87
支払利息	52	89
為替差損益 (△は益)	△161	△93
補助金収入	△66	△55
固定資産売却損益 (△は益)	10	—
関係会社清算損益 (△は益)	△11	△124
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,002	△944
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,857	1,042
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29	△231
その他	△329	△295
小計	△2,081	2,787
利息及び配当金の受取額	39	87
利息の支払額	△51	△89
補助金の受取額	66	55
法人税等の支払額	△150	△932
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,177	1,907
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6	△656
定期預金の払戻による収入	194	145
有形固定資産の取得による支出	△2,735	△1,236
無形固定資産の取得による支出	△28	△86
固定資産の売却による収入	255	5
その他	△5	△67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,325	△1,896
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	1,484	—
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,358	353
長期借入れによる収入	2,435	274
長期借入金の返済による支出	△200	△323
配当金の支払額	△392	△399
非支配株主への配当金の支払額	△5	△4
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△23	△43
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,655	△143
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,697	660
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,849	528
現金及び現金同等物の期首残高	15,205	14,480
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,055	15,009

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。